

昇降装置のご使用方法
については取扱説明書
をご覧ください。

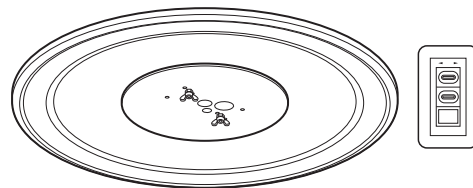
電動昇降装置

(埋込型)

OA 076 032P1

●施工者様へ：工事が終わりましたら、取扱説明書と共にこの施工説明書も
必ずお客様へお渡しください。

●お客様へ：取り付けは工事店・電器店（有資格者）に依頼してください。
一般の方の電源工事は禁止されています。



安全上のご注意：必ずお読みください！

この取扱説明書、および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただくようあなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために次のような「マーク表示」を行っています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご確認の上、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容を示します。

警告



取付面

昇降装置と照明器具の合計重量の約10倍の荷重に耐えるところに、確実に取り付けてください。取り付けに不備があると落下による感電、けがの原因になります。
補強確認は工務店にご相談ください。



電気設備基準

アース工事は電気設備の技術基準にしたがって確実にこなってください。アースが不完全な場合は感電の原因になります。



器具の隙間や放熱穴に金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。火災、感電の原因になります。



ワイヤーが絡んだ状態では絶対に上昇させないでください。ワイヤー切断の原因になります。



シーリングファンは、ファンの回転が完全に止まってから下降させてください。回転したまま下降させると遠心力がワイヤーにかかり大変危険です。故障およびワイヤー切断の原因となります。



取り付けは取扱説明書にしたがい確実にこなってください。不完全な取り付けをすると、火災、感電、けがの原因になります。



上向き専用 横取付
下向き専用 縦取付

器具取付に方向性がある場合、本体表示および取扱説明書にしたがって正しく固定してください。指定以外の取り付けをおこなうと火災、感電、けがの原因になります。



電源接続の際は取扱説明書にしたがい確実にこなしてください。接続が不完全な場合は接触不良により火災の原因になります。



器具を改造しないでください。火災、感電の原因になります。

注意



屋外や浴室等の水や湿気の多いところでは使用しないでください。火災、感電の原因になります。



使用電圧を確認

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因になります。



調光器

調光器のついている回路では使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。



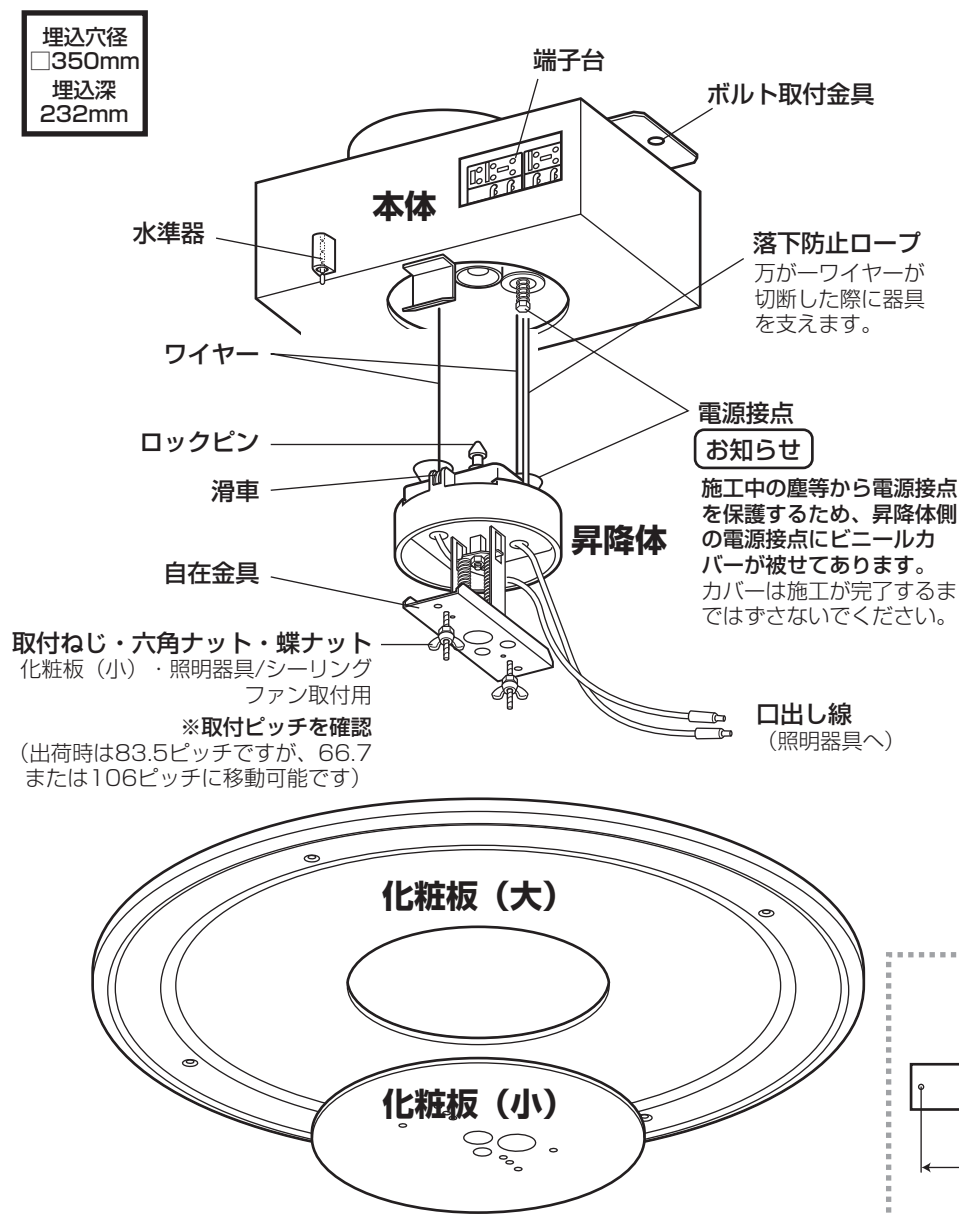
腐食性ガス・粉じんの影響を受ける場所、または振動の多い場所では使用しないでください。損傷、過熱、火災、感電、落下の原因になります。



素人工事 危険

電源工事は必ず工事店・電器店（有資格者）に依頼してください。一般の方の電源工事は禁止されています。

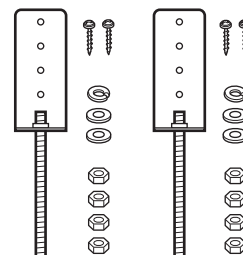
■各部の名称



■付属品

- 壁スイッチ
- 操作キー
×2
(予備1個)

- ボルトセット×2セット
本体取付用



- 皿木ねじ×4
化粧板（大）取付用

- ねじ・バネワッシャー
・平ワッシャー×各2
シーリングファンおよび
重量器具補強用

- クッション×4
シーリングファン用

- ## ●ゲージ金具



■仕様

取付可能器具重量	1kg～13kg
昇降可能高さ	5mまで
昇降速度	約1.5m/分
ランプ回路接点数	2接点
ランプ回路接点容量	1200W
連続運転時間	最大20分
定格電圧	AC100V
周波数	50/60Hz共用
消費電力	55W
定格電流/始動電流	550mA/600mA
傾斜天井対応角度	35度まで
定格昇降回数	100回

この器具の特徴

この装置は吹き抜け照明器具のランプ交換、清掃
などメンテナンス専用装置です。

※オーデリック製の適合器具と組み合わせてご使用ください。適合器具の型番は弊社カタログでご確認いただけます。

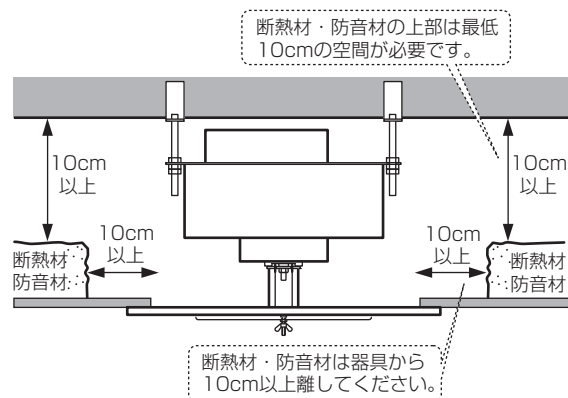
シーリングファン取付可能

- 昇降操作、照明器具の点灯／消灯は、付属の壁スイッチでおこないます。
※シーリングファンの操作はファンのリモコンでおこなってください。
- 別途3路スイッチを設けて、照明器具やシーリングファンのON/OFFを2箇所でおこなうことができます。

施工上の注意

- ◎取り付けは、必ず2人以上で作業してください。
落下によるけがの原因になります。
- ◎照明器具、シーリングファン以外のものは取り付けないでください。
※必ず弊社の適合器種と組み合わせてご使用ください。
※傾斜天井に設置する場合は必ず傾斜天井対応型の器具をご使用ください。
- ◎調光器との併用はできません。
- ◎取付には必ずゲージ金具を使用してください。
- ◎付属の壁スイッチは器具が見える位置に取り付けてください。
操作中に器具が見えないと事故の原因になります。
- ◎周囲温度が35℃を超える場所では使用しないでください。
- ◎昇降装置の点検をおこなうため、点検口、キャットウォーク等の設置をおすすめします。

警告 断熱材・防音材をかぶせて使用しないでください。火災の原因になります。



◆施工者様へのお願い

- 昇降装置は照明器具/シーリングファンと同時に施工してください。
- 施工完了後は必ず動作テストを行ってください。

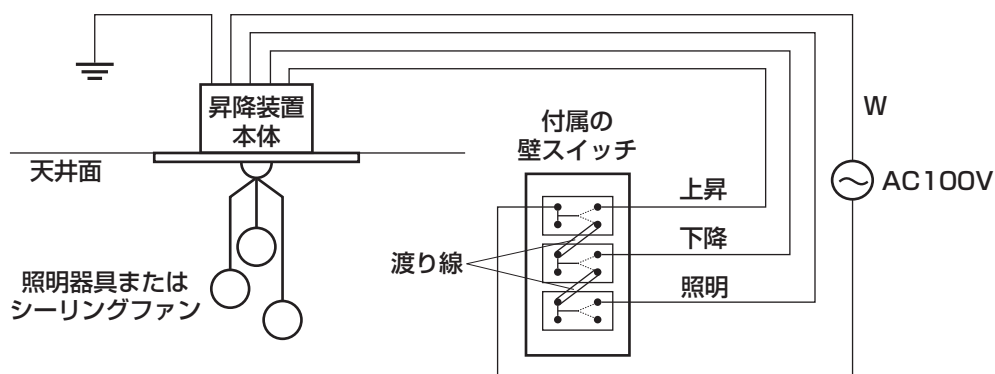
高所に設置されるため、お客様への引き渡し直前のチェックで万が一問題が発生した場合、対応が難しくなる可能性があります。

念のため、取付工事終了直後に仮設電源等を使用し、昇降および照明器具の点灯テスト/シーリングファンの動作テスト（P.7）を実施くださいますようお願いいたします。

配線図

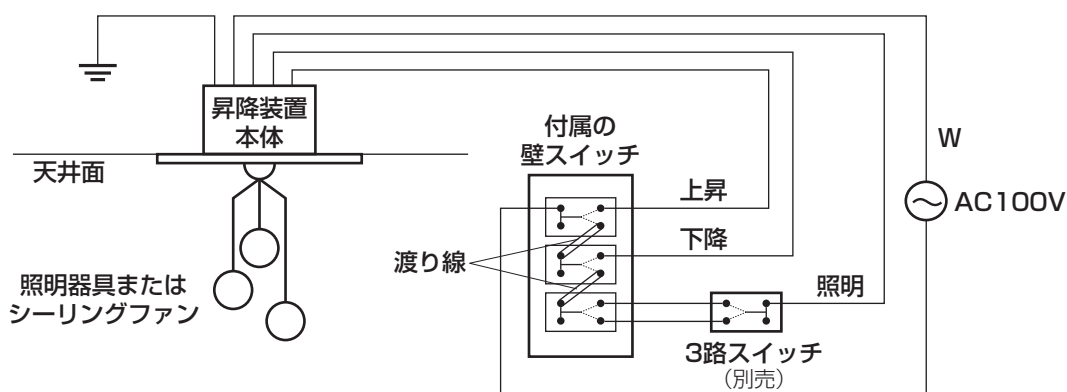
警告 渡り線がしっかりと接続されているかご確認ください。
誤配線はモーター焼損の原因になります。

1箇所操作



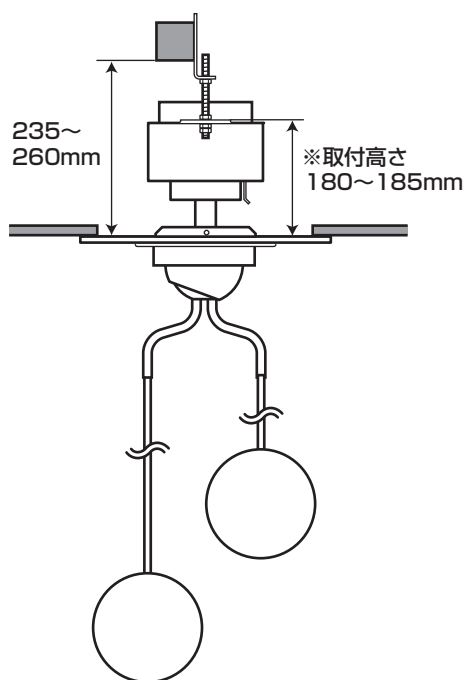
2箇所操作

※照明器具/シーリングファンのON/OFFのみ



■取付完成図

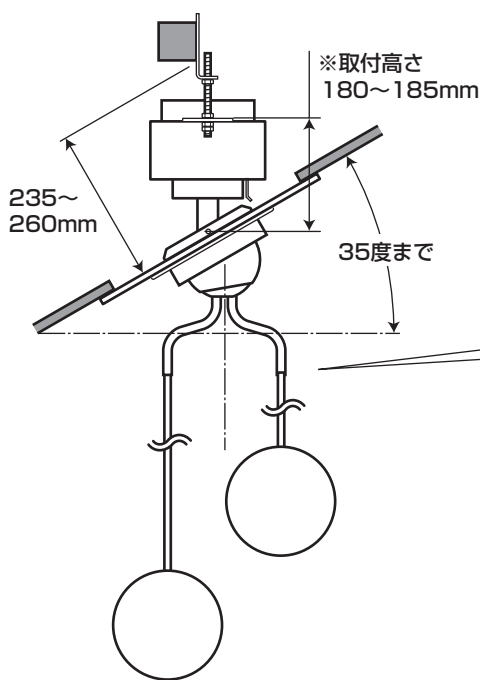
水平天井



傾斜天井

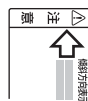


傾斜角35度を超える天井には取り付けられません。ワイヤー切断の原因になります。



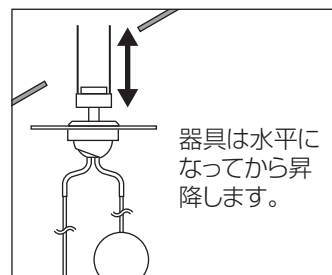
取付方向に注意

貼付の方向シールに従い取り付けてください。



傾斜天井対応の器具

傾斜天井に取り付ける場合は、必ず傾斜天井対応の器具を使用し、器具が垂直になるように取り付けてください。

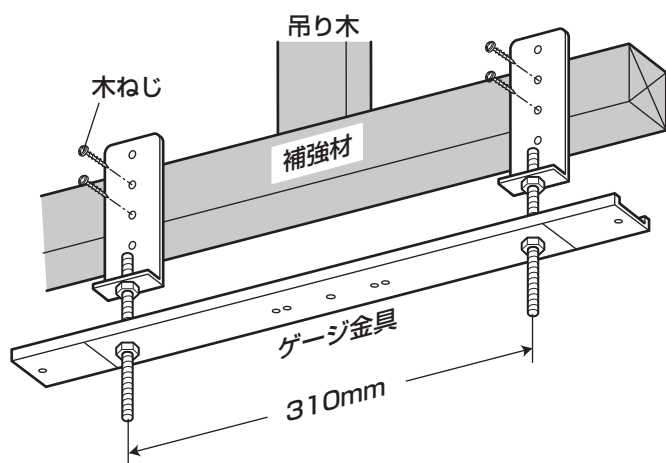


■取付前の準備



ボルト取付箇所の補強は確実にしておこなってください。昇降装置と器具の合計重量の約10倍の荷重に耐える強度が必要です。補強のない天井に取り付けると、落下によるけがの原因となります。

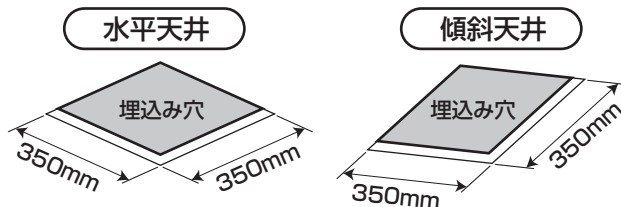
- ① 内天井を張る前に天井裏にボルトセットを取り付けてください。



1. ゲージ金具にボルトを仮止めし、取付ピッチの位置出しをします。
2. 補強材で補強している部分に、木ねじで垂直に固定してください。
3. 内天井を張る前に、ゲージ金具をはずしてください。

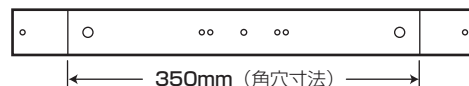
※傾斜天井に取り付ける場合は
上記「■取付完成図」の向きになるように取り付けてください。

- ② ふところ深さが235~260mmになるように内天井を張り内天井に埋め込み穴をあけてください。

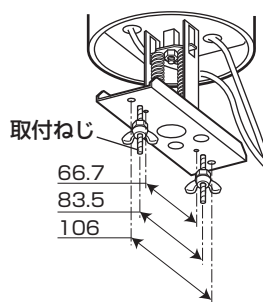


※ボルトと埋め込み穴の中心ズレは5mm以下としてください

●ゲージ金具をご利用ください



- ③ 昇降装置と照明器具/シーリングファンの取付ピッチを確認してください。



昇降装置側の取付ピッチは、出荷時は83.5ピッチです。器具側が66.7または106ピッチの場合は、取付前に取付ねじを移動しておいてください。

ご注意

昇降装置取付後の移動は困難なため、必ず取付前にご確認ください。

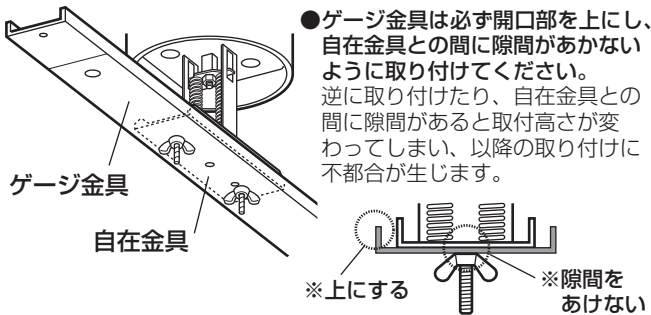
■取り付けかた

⚠警告 取り付け中は、電源は絶対入れないでください。
感電の原因となります。

1 付属の壁スイッチを取り付けてください。 (P.3、配線図参照)

2 本体を取り付けてください。

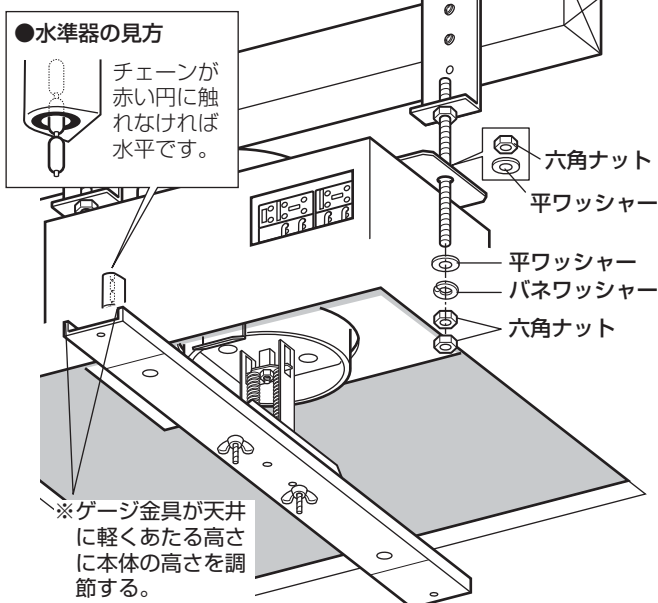
1. ゲージ金具を昇降体の自在金具に取り付けます。



2. 本体をボルトで吊り下げます。

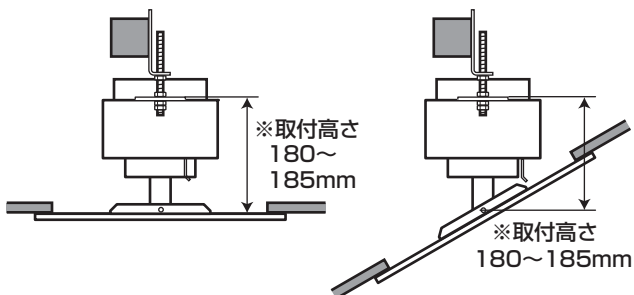
ゲージ金具が内天井に軽くあたるように、六角ナットの位置で本体の高さを調整してください。

⚠警告 本体はガタつかないように、上下のナットで確実にしめ付け、下側はダブルナットで固定してください。落下の原因になります。

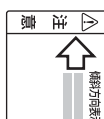


●取付後は必ずメジャー等で取付高さを確認し、水準器で水平が出ているか確認してください。

⚠注意 水平に取付られていないと、接触不良による不点灯の原因になります。必ずご確認ください。



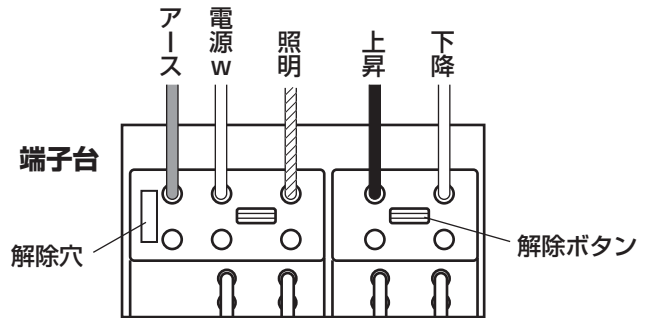
●傾斜天井に取り付ける場合は
本体の取付に方向性があります。
貼付の方向シールに従い正しい
方向で取り付けてください。



3. 化粧板（大）の取付位置（440mmピッチ）に印をつけてからゲージ金具をはずします。

3 電源線を端子台に接続してください。

⚠警告 配線は図に従い正しくおこなってください。
誤配線はモーター焼損の原因になります。



●電源線の被覆は指定の長さにもむき、1本ずつ確実に差し込んでください。差し込み不十分は、感電・火災の原因になります。

●電線はまっすぐ穴に差し込んでください。斜めに差し込むと端子台を破損するおそれがあります。

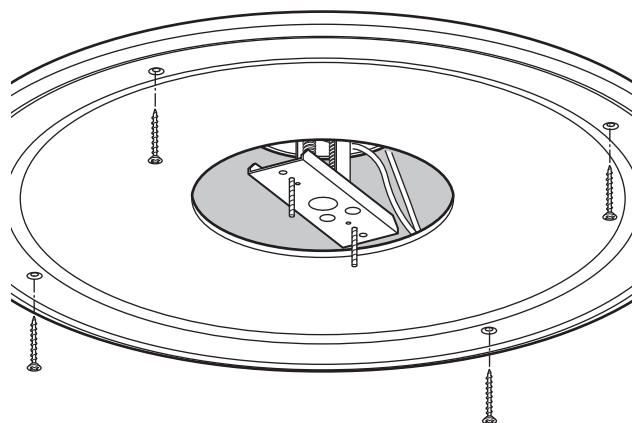
●D種（第三種）接地工事をおこなってください。

●送り配線はできません。

4 化粧板（大）を取り付けてください。

ゲージ金具で位置決めしたところに、付属の皿木ねじ4本で固定してください。

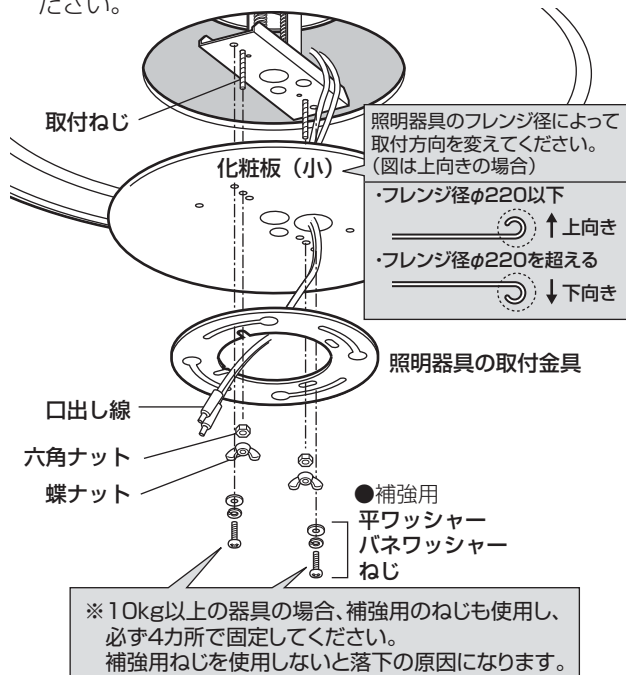
●木ねじは補強材のあるところに取り付けてください。



5 化粧板（小）と照明器具の取付金具を取り付けてください。

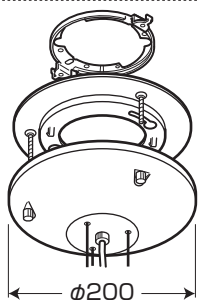
昇降体に共締にします。

※取付ねじのピッチを変える場合は、仮設電源を入れ昇降体を一旦下降させてから取付ねじを移動してください。

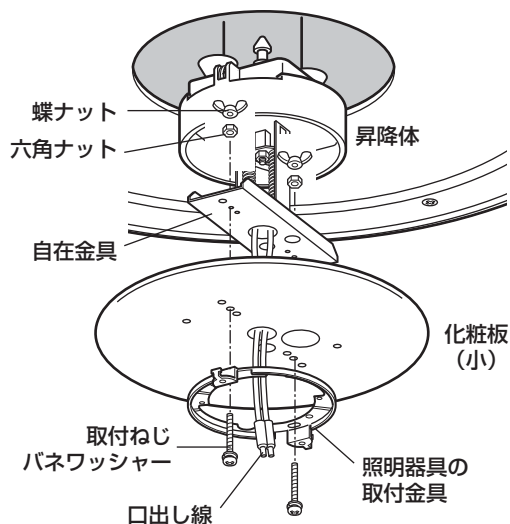


φ200フレンジを取り付ける場合

照明器具が図のフレンジタイプの場合は、昇降体の取付ねじを一旦はずし、以下の手順で取り付けてください。

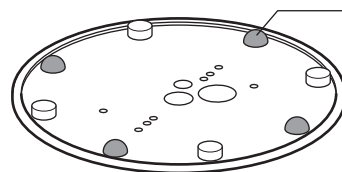


1. 仮設電源を入れ、昇降体に1kg以上の荷重をかけて一旦下降させます。
2. 昇降体の自在金具から取付ねじをはずします。
3. はずした取付ねじで、化粧板（小）と照明器具の取付金具を下側から共締にしてください。



シーリングファンを取り付ける場合

1. クッションを化粧板（小）に追加します。

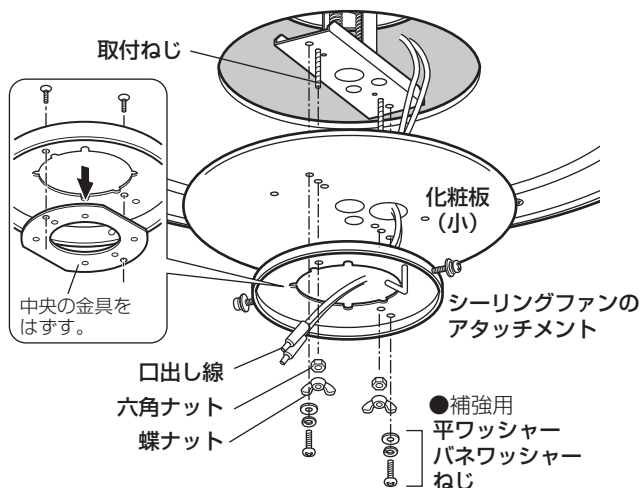


ファンの振動などを防止するため、化粧板の裏側に付属のクッションを4個貼りつけてください。

2. 化粧板（小）とシーリングファンのアタッチメントを取り付けます。

口出し線をそれぞれの電源穴に通しながら、化粧板（小）とアタッチメントを昇降体に共締にします。

●必ず補強用のねじも使用し、4カ所を確実にしめ込んでください。（ファンの振動等の原因になります）



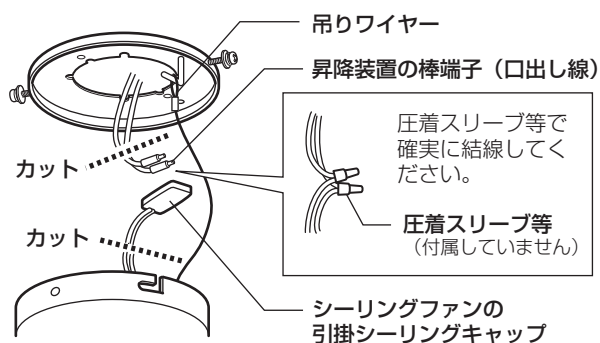
6 照明器具を取り付けてください。

照明器具の端子台に口出し線を接続します。

以降は照明器具の取扱説明書に従い、正しくお取り付けください。

シーリングファンを取り付ける場合

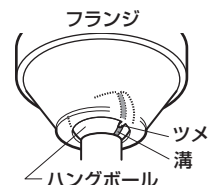
シーリングファンの仮吊りワイヤーをアタッチメントのフックに取り付けてから、電源を接続します。



以降はシーリングファンの取扱説明書に従い、正しくお取り付けください。

⚠注意

パイプ吊りのファンの場合、ハングボールのツメがはまっているか必ず確認してください。ツメが外れていると、ファンのブレなどの原因になります。



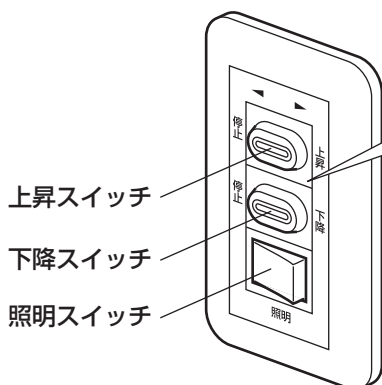
6 動作チェックをしてください。

■操作方法と動作チェック

操作キー



壁スイッチ



操作キーを差し込んで倒す

停止



上昇または下降

操作後は、必ず停止側に倒して操作キーを抜き取ってください。

※モーター過負荷による故障、落下の原因になります。

※上昇／下降スイッチとも、停止側にしないと照明が点灯しません。

施工時の動作チェックやご使用中の定期点検は、以下の手順でおこなってください。

昇降テスト

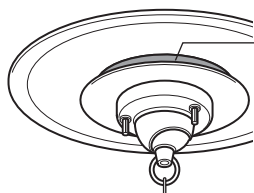
照明を消灯（シーリングファンを停止）し、下降と上昇を数回繰り返します。（20cm程度でも可）

お知らせ 下降するときは、昇降体が一度完全に上昇してロックを解除してから下降します。

① 最上部まで上昇した時に、自動停止してロックされたかチェック。

モーター音がする場合は、自動停止していません。
⇒昇降装置の取付高さを低くしてください。

② 最上部まで上昇した時に、化粧板（大）と（小）の間にスキマがないかチェック。



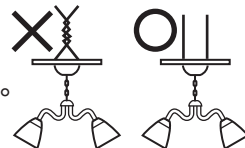
スキマが大きい場合は
⇒昇降装置の取付高さを
高くしてください。

照明の点灯（シーリングファンの回転）テスト

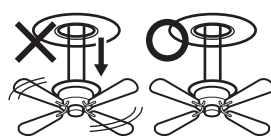
- 一旦下降させて、電源接点のビニールカバーを取りはずす。（お買い上げ時のみ）
- 最上部まで上昇させ、上昇スイッチを停止側にする。
※停止側にしないと、照明スイッチを入れても点灯（回転）しません。
- 照明スイッチを入れて点灯（回転）を確認する。
●シーリングファンのテストは、ファン側の取扱説明書に従いおこなってください。

⚠ 警告

- ◎ワイヤーが絡んだ状態では絶対に上昇させないでください。
ワイヤー切断の原因になります。



- ◎シーリングファンは、ファンの回転が完全に止まってから下降させてください。
回転したまま下降させると遠心力がワイヤーにかかり大変危険です。故障およびワイヤー切断の原因となります。



- ◎ワイヤーを押し込んだり、たるませたりしないでください。

ワイヤーが滑車からはずれたり、ワイヤー巻取り異常により落下の原因となります。
※下降中、吊りワイヤーがたるむと自動停止しますが故障ではありません。

- ◎器具やワイヤーを引っぱったり、ぶら下がることは絶対にしないでください。

落下によるけがの原因となります。

- ◎下降させる場合は

- 器具を見ながら操作してください。
- 操作中は、器具の真下付近に近づかないでください。
- 器具の下端が床面に着く手前で停止してください。

- ◎上昇させる場合は

- ワイヤーのねじれが無いを確認してから操作してください。
- 器具がゆれていない状態で操作してください。

- ◎連続運転時間20分を超えて昇降操作しないでください。
※モーター過熱による火災の原因になります。

- ◎操作後はスイッチを必ず停止位置に戻してください。
※停止位置にしないと照明器具が点灯しません。

■故障かなと思ったら

現象	原因	チェックポイント
昇降しない	○電源がきていない	◇電源を確認
	○配線が間違っている、またははずれている	◇端子台を確認し、再度結線する
	下降しない場合は ○照明器具（シーリングファン）がついていない、または軽すぎる ○昇降体がロック解除位置まで上昇しないためロックが解除されない	◇器具の重量を確認（適合重量は1kg～10kg） ◇昇降装置の取付高さを再調整する
	上昇しない場合は ○照明器具（シーリングファン）が重すぎる ○昇降装置が傾いてついている	◇器具の重量を確認（適合重量は1kg～10kg） ◇水平に取り付けなおしてください
下降途中で止まる	○吊りワイヤーがたるみ、自動停止した	◇たるみを取り除く
上昇途中で止まる	○重量オーバーまたは何かに引っ掛かっている	◇器具の重量および、何かに引っ掛かっているか確認
	○ワイヤーが絡んだ	◇一旦下降させ、ワイヤーの絡みを取り除く
下降と上昇が逆になる	○配線が間違っている、またははずれている	◇端子台を確認し、再度結線する
上昇後自動停止しない (モーター音が止まらない)	○昇降体がロック位置まで上昇していない	◇昇降装置の取付高さを再調整する
昇降時の異音、異常 器具のゆれ	○電源に調光器がついている	◇調光器をはずす
	○ワイヤーが滑車からはずれている	◇一旦下降させ、ワイヤーを滑車に戻す
照明器具が点灯しない シーリングファンが 回転しない	○照明スイッチがOFFになっている	◇照明スイッチをONにする
	○ランプの寿命またはランプがゆるんでいる	◇ランプを交換またはソケットに確実に取り付ける
	○器具が下降している	※上昇しきっていないと照明は点灯しません (シーリングファンは回転しません) ◇昇降装置の取付高さを再調整する
	○昇降装置の取付高さが高すぎるため、電源接点 が接していない	
	○上昇スイッチ（または下降スイッチ）が上昇 （または下降）側になっている	◇下降スイッチ・上昇スイッチともに停止側にする
	○電源接点にビニールカバーがついている	◇ビニールカバーをはずす
	○配線が間違っている、またははずれている	◇端子台を確認し、再度結線する

お問い合わせ・ご相談は **カスタマーサービス 03-3332-1123** へご連絡ください。

オーデリック株式会社

本 社 住所：〒168-0081 東京都杉並区宮前1-17-5 TEL：(03)3332-1111 FAX：(03)3332-1103
 カスタマーサービス 住所：〒168-0081 東京都杉並区宮前1-17-5 TEL：(03)3332-1123 FAX：(03)3332-1412